平成25年度当初予算案の特色

★:新規　☆拡充

＜予算編成の基本姿勢＞

1　未来に向けたまちづくり

・新たな基本構想・計画の初動にあたり、特に「地域」「子ども」に注力
・「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環を戦略的に創出

2　国と連動した緊急経済対策の実施

・国の財源を活用し、身近な施設の整備改善を大幅に前倒し
・24年度2月補正と合わせ、切れ目のない「14ヶ月予算」を編成

3　優先順位の最適化（ﾋﾞﾙﾄﾞ＆ｽｸﾗｯﾌﾟ）

・簡素で効率的な市役所を実現し、持続可能な市政運営に取り組む
・政策推進と行財政改革の連動により、真に必要な施策事業に重点化

人と投資を呼び込み、好循環をつくっていく

生活の質の向上

見守り、支え合う、強い絆の地域づくり

地域

★地域で実施する区の事業の意思決定に住民が参画する仕組みの構築
［各自治協議会から区に事業提案、自治協会長と区からなる会議で協議し、事業選定・実施］
★自治協議会が主体的に行うまちづくり活動の支援、住民自治や行政との共働によるまちづくりを推進
★みんなの公民館として、自治協のブログ開設支援、公民館を身近に感じてもらうための取組み実施

高齢者支援

☆特別養護老人ホーム建設費助成
［24～26年の3年間で1,110床計画
21～23年実績の約2倍］
★NPOと共働で、ライフライン事業者等からの異変連絡に対応する見守りネットワークセンター設置
☆60歳を対象とした「還暦式（仮称）」の開催
地域における共助の仕組みづくり

ユニバーサル

★ユニバーサルに係る表彰制度
［功績ある活動や優れた施設等を表彰］
☆フェスティバルの開催継続
☆公共交通施設等のバリアフリー化整備への補助
［JR下山門駅のエレベーター設置など］

安全・安心

★黄砂・微小粒子状物質(PM2.5)の予測、大気汚染の監視、市民への分かりやすい情報提供
★暴力団対策防犯カメラの設置
［天神周辺地区・30台］

次代を担う子ども、グローバル人材の育成

子育て

★H26.4月の待機児童ゼロを目指し、過去最大規模の保育所整備を推進
［24n1,400人分＋**25n1,900人分**］
★認可外保育施設を利用する夜間就業世帯向けの助成を開始［月額5,000円～25,000円］
★保育サービスの情報提供・助言等を行う専門員、『福岡市保育コンシェルジュ』を全区に配置

いじめ不登校

★いじめゼロプロジェクト、道徳教育の推進によりこころ輝くまち福岡を推進
［いじめゼロサミット開催、いじめゼロ宣言］
☆いじめ・不登校の未然防止・早期発見の取組み［Q-Uアンケートを私立も含めた全小6・中1・2で拡大実施］
☆スクールソーシャルワーカー配置拡大［10名→12名］

学校教育

☆政令市トップクラスの英語教育
①小6の英語教育拡充［全公立校でゲストティーチャー24n15時間→25n35時間／年］
②中1～高3ネイティブスピーカー全校配置
③英語体験施設（釜山グローバルビレッジ）への中学生派遣拡充［24n70名→25n私立を含む100名］
☆特別な支援を要する児童生徒への支援員の配置
［24n120名→25n150名］

ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ人材

☆アジア太平洋こども会議・in福岡25周年特別事業の開催
★教育機関と連携したグローバル人材の育成機能等の検討

都市の成長

観光・集客、ＭＩＣＥ誘致

歴史・文化

★大濠公園・舞鶴公園の一体的活用に向けたセントラルパーク構想の推進
☆鴻臚館・福岡城活用に向けた「鴻臚館跡整備基本構想」検討、「福岡城跡整備基本計画」策定［二重の国史跡指定は全国唯一］
★NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」にあわせ、官民連携した集客プロジェクトを実施

魅力発信

・食、エンターテイメントなど福岡に泊まって楽しむ集客資源の魅力向上
☆「ｱｼﾞｱを知る」ｱｼﾞｱﾏﾝｽを、「ｱｼﾞｱと創る」ｱｼﾞｱﾝﾊﾟｰﾃｨｰとして発信［ｱｼﾞｱﾌｫｰｶｽ映画祭、ｱｼﾞｱ太平洋ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ、ｱｼﾞｱ文化賞、ｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞﾌｪｽﾀの開催 等］
★アムステルダム便就航にあわせ欧州プロモーション実施
［週3便、九州初・唯一の欧州直行便］

MICE

★フィギュアスケート・グランプリファイナルの開催
☆経済波及効果の高いMICEの誘致
MICE主催者や参加者のニーズにあわせた支援、歓迎演出、ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｿﾞｰﾝ機能強化の検討
［政令市中、3年連続ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ開催件数全国1位］

都心部機能強化の推進

☆地下鉄七隈線延伸の早期実現に向け、建設着手
★都心部において、来街者が安心して回遊できる快適で質の高い歩行者空間の創出を検討、春吉橋における回遊スポットとしての賑わい創出空間の検討
・都心部とウォーターフロントとのアクセス強化に向けた来訪者にも分かりやすい公共交通の検討

スタートアップ都市づくり

☆福岡市の次代を担うゲーム、ファッションなどのクリエイティブ関連産業を振興
★大学・専門学校、企業と連携し、ゲーム・映像等の即戦力や専門人材を育成
☆アイランドシティにおけるスマートコミュニティ形成に向けたエネルギーマネジメントシステム導入支援
☆第2産学連携交流センターの整備［10月オープン］、有機光ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽの実用化促進
☆立地交付金や市税の特例措置により、成長性のある分野の企業・本社機能を集積

国の大型補正と連動した経済対策

●身近な施設の整備改善をスピードアップ
・生活基盤の改善、公園再整備、学校校舎、体育館博物館リニューアル、雑餉隈連続立体交差

●市の負担を軽減し市債残高も縮減
・国の財源を活用し、本来の市の負担を軽減
・市債残高は全会計で着実に縮減しており、国の臨時交付金を活用し更に縮減の見込み

優先順位の最適化（ﾋﾞﾙﾄﾞ＆ｽｸﾗｯﾌﾟ）

財政健全化の取組み

■改革により確保した財源　56億円
■外郭団体　▲2団体
■市債残高（全会計）　▲315億円
■市債発行（一般会計）　▲40億円
■実質公債費比率　▲0.8ポイント

行財政改革推進の取組み ― 行財政改革プランを策定（6月）―

1. 市民の納得と共感
・区役所窓口サービスの改善
・区役所窓口の接遇向上を推進
2. 健全な財政運営
・［税務行政推進プラン］［第3次外郭団体改革実行計画］［新財産有効活用プラン］［補助金ガイドライン］の策定
・公共施設ﾗｲﾌｻｲｸﾙｺｽﾄ低減、建替時の民間活力導入
3. チャレンジする組織改革
・局・区長の権限・責任拡大による自律経営の推進
・市民と直接接する現場の声を活かす業務改善を推進

改革による財源捻出の効果 56億円

○歳入の確保
・市税収入率　24n96.2%→25n96.4%
・清掃工場売電収入確保、未利用地等の売却・活用
○行政運営の効率化
★改革を率先する市長の給与・賞与▲20%,退職手当▲50%
○役割分担・関与の見直し、行政ｻｰﾋﾞｽ見直し
○公共施設等見直し、予算編成手法等見直し

外郭団体を24年度末に2団体廃止

○　(財)海づり公園管理協会の廃止〔H24年度末〕
○　(財)健康づくり財団の廃止〔H24年度末〕

全会計市債残高を▲315億円縮減

○ 全会計ベースの市債残高　▲315億円
〔24n末見込：2兆4,795億円
→25n末見込：2兆4,480億円〕
○ 一般会計の市債発行額　▲40億円
〔24n当初：750億円→25n当初：710億円〕
※退職手当債の発行を取り止め（▲23億円）
※増え続けていた臨時財政対策債が5年ぶりに減少
○ 実質公債費比率　▲0.8%
〔24n見込：14.8%→25n見込：14.0%〕

重要施策に必要な財源を確保

政策推進と行財政改革を連動したビルド＆スクラップ（優先順位の最適化）を実施し、必要な財源を確保

将来にわたり持続可能な市政運営へ